

# フォームュラリ（静注鉄剤）

## 入院

### 第一選択薬

フェジン静注40 mg

### 第二選択薬

モノヴァー静注500 mg

輸血の必要はない貧血患者  
(ヘモグロビン 10 g/dL未満)

## 外来

### 第一選択薬（患者の外来受診状況にあわせて薬剤を選択すること）

フェジン静注40 mg

モノヴァー静注500 mg

## ■補足事項

- 経口鉄剤の投与が困難又は不適当な場合に限り使用すること
- 過量にならないよう、総鉄投与量（投与回数）に注意すること
- 鉄過剰を来す恐れがあるため、鉄欠乏状態にない患者には投与しないこと
- 低リン血症の発現に注意すること

<鉄欠乏貧血と貧血のない鉄欠乏の診断基準<sup>1)</sup>（ヘモグロビンは成人女性の基準値）>

診断	ヘモグロビン [g/dL]	総鉄結合能 (TIBC) [μg/dL]	血清フェリチン [ng/mL]
鉄欠乏性貧血	<12	≥360	<12
貧血のない鉄欠乏 (貯蔵鉄が枯渇しているが貧血は生じていない状態)	≥12	≥360 or <360	<12
正常	≥12	<360	≥12

1) 鉄欠乏性貧血の診療指針（日本鉄バイオサイエンス学会）参照